

産業振興の取り組みに関するアンケート集計表

委員名 ※敬称略 (所属等)	Q1. ご自身又は所属団体等で現在取り組んでいる、又はこれから取り組みたいと考えている産業振興に関する事業等についてご紹介ください。		Q2. 市内の産業振興に繋がる施策のご提案があればご記入ください。	Q3. その他、産業振興に関するご意見があればご記入ください。
	【現在】	【予定】		
長尾 亨 (愛知北農業協同組合)	<ul style="list-style-type: none"> 各種農業塾・農業講座を実施し、新規就農者や、多様な担い手の育成支援 無料職業紹介事業および農福連携による、農業労働者確保など 	<ul style="list-style-type: none"> 共同乾燥施設を整備し、生産者の作業労力の低減及び農産物(米・麦)の品質向上への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者や、規模拡大等を目指す意欲ある農業者への機械・設備投資支援(国・県との併用) 	<ul style="list-style-type: none"> 農業・工業・観光など、犬山市は様々な産業があり、バランスのとれた産業振興に取り組んで欲しい。また、産業間の連携など。
内田 信也 (愛知中小企業家同友会)	99ビジョン「自立型企業」「地域社会と共に」という二つの旗印の基で取り組んできた。	2022ビジョンでは、全体スローガン「地域未来創造企業」とし「自立型企業」「地域未来創造」の旗印のもとで取り組んでいく。	学生さんに「地域未来創造企業」とは、どんな企業を創造し犬山市特に、中零細企業の役割や町づくりとの共生など「なりたい犬山」「住みたい犬山」についてビジョンを描いてもらう。	-
片山 義博 (犬山市観光協会)	<p>当協会においては、多岐にわたる活動事業を通じて観光客誘致促進をしておりますが、コロナ禍においては観光需要が完全に疲弊しておりました。国のGotoトラベルキャンペーンを皮切りに現在の全国旅行支援等の施策を活用しながら、また旅行会社商品造成や名古屋鉄道とのタイアップキャンペーン等を通じて情報を発信しております。コロナ前までには及びませんが、一定数観光客が戻りはじめました。</p> <p>犬山市においては観光戦略が策定され、日帰り観光客はもちろんのことながら、宿泊観光客の増大をテーマに掲げられており、消費額増大を期する為に、SNSをはじめ、メディアへの情報発信をはじめ、名古屋圏のみならず、首都圏・関西圏にも誘客に力を注いでおります。</p>	<p>コロナ禍においては、観光需要が完全に疲弊した。とりわけインバウンド需要は皆無となりました。国の水際対策もコロナワクチンの浸透により、緩やかになる傾向にあり、6月には条件つきながら団体旅行、9月には個人旅行の解禁、10月にはコロナワクチン3回接種という条件が残るもののコロナ前に水準に戻りつつあります。</p> <p>当協会においては、インバウンド需要喚起に喫緊の課題と考えており、一度リセットされたインバウンド需要を喚起する為にも台湾をはじめ東アジア等各国に情報発信をしていきます。</p> <p>インバウンドを需要喚起の為、観光庁から補助金メニュー(地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値事業・観光再始動事業等)が用意されているので、各団体と連携しながら推進して参りたいと考えております。</p>	<p>誘客の為に施策は、国内はもちろん海外誘客が必至でありますが、当地においては、大河ドラマが盛り上がり、犬山城をはじめ市内に観光客が回遊できるよう戦国をテーマとした仕組み及び県内を巡る仕組み(スタンプラリーや御城印等)を構築したい。</p>	
吉田 英美・奥村 好樹 (犬山商工会議所)	<p>本年5月発表の経済センサス活動調査の結果によると2021年の都道府県別事業所数は、全ての都道府県において前回調査の2016年を下回っており、地域内商工業者数においては、これまで30年間において約530件減少している。2度の小規模支援法改正を経てより深い事業者への伴走支援が求められている。</p> <p>経営改善事業: 記帳、税務、金融指導、各種制度情報収集及び情報提供等</p> <p>経営発達事業: 経営状況分析、経営計画作成・実施支援、経済動向・市場調査支援、創業・販路開拓支援等、経営力再構築伴走支援の推進</p>	<p>小規模企業等はコロナ禍や国際情勢の緊迫化、物価高騰等の厳しい経営環境に直面しており、生き残りを図るために「自己変革力」を発揮し、ビジネスモデルの変革に積極果敢に挑戦することが不可欠。小規模企業者への支援強化に向け、中小企業庁が推進する「経営力再構築伴走支援」への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営者との対話を通じた信頼の醸成、経営者にとっての本質的課題の掘り下げ。 経営者の自己変革力、潜在力の引出し。 経営者にとっての本質的課題を掘り下げる課題設定を重視し、その先の課題解決に繋げる。 課題解決に向けて、スキルを磨くとともに、カーボンニュートラルやDX等より高度な専門分野には、適切な専門家や支援とのネットワークを構築し、円滑な橋渡しを実施。 	高度・専門的な相談に対応する専門家派遣	<p>既存の犬山市産業振興補助金(人材育成・展示会出展・雇用支援・雇用促進)事業の実績を把握した上で検討したい。</p>

委員名 ※敬称略 (所属等)	Q1. ご自身又は所属団体等で現在取り組んでいる、又はこれから取り組みたいと考えている産業振興に関する事業等についてご紹介ください。		Q2. 市内の産業振興に繋がる施策のご提案があればご記入ください。	Q3. その他、産業振興に関するご意見があればご記入ください。
	【現在】	【予定】		
林 龍春 (尾北民主商工会)	尾北民商としての取り組みは会内で発行している機関誌にチラシを折り込み会員の仕事内容などを紹介しております。また、同時にSNSを使って同内容を会外にも情報発信しています。ただ、仕事に直結するような事例はまだ無く、いかに仕事に結びつけるかが今後の課題です。	以前は見本市のようなものも開催して活気もありました。そのような催しを開催したいと思っておりますが、会内全体の平均年齢も高齢化しており前向きな展開とはなっていません。また、若い会員も在籍していますが、会の取り組みに組み込んでいくのが難しく課題となっております。	城下町を活かしたビジネス展開の次なる課題は市内での滞在時間の延長であります。更に市内でお金を落としていく構造となると宿泊でテーマパーク割引などの関連付けやクーポン券セットで国が行う旅行支援の拡大版のようなものや極端な話だと犬山城に泊まるとかランチやディナーが味わえるお城ビュッフェなんてものも面白い。	時代とともに商売のスタイルも発想も一変しておりこれからの若い人達の発想を発掘していく為にもビジネスモデルのコンテストなど良いと思います。
岩井 基尚 (犬山金融懇話会)	十六銀行は、十六FG設立の目的の一環として、「地域事業者・地域住民・行政と密に関わり、持続可能な地域経済の成長・発展に貢献する」という目標を掲げたところです。	「ともに地域の未来を創造し、地域のサステナビリティを実現する」という目的のため、「地域のまちづくり事業に対するマネタイズスキームの構築とリスクマネーの供給に寄与したい」と考えております。	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済の活性化のための地域ブランドの創出への貢献 各種商談会の開催等(購買力のある地域産品の発掘と都市圏への発信・PR) NOBUNAGAキャピタルビレッジの活用 地域活性化に資するベンチャー企業への出資との協業等 	-
加藤 秋人 (名古屋経済大学)	・犬山市観光動向アンケート(観光課) (11月にアンケートを実施)	引き続き、地域連携センターが中心となって、学生を地域に送りたいと考えています。	-	-
梅田 千里 (犬山市消費者団体協議会)	<ul style="list-style-type: none"> 団体の活動はコロナの影響で活動中止状態になっております。 毎月食品の価格調査を続けておりますが、野菜の価格変動が大変ありました。昨年末より野菜以外の食品の高騰が15~20%あり、消費者として生活に響いております。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人的には賢い消費者になる。 地産地消に関わる活動に参加。 	-	-
細江 英明 (中小企業診断士)	(公社)中小企業診断士協会 観光産業経営研究会 において、平成24(2012)年から、宿泊業や観光地への「経営診断」を行っています。これは診断士3~7名がプロジェクトチームを組織して、3~5ヶ月程度の期間で事業者(団体)の現状と課題を明らかにして、打開策としての提言をまとめるものです。経営診断を受ける事業者には担当する中小企業診断士への往復交通費と調査実費を負担していただき、他は一切負担をいたしません。調査実費とは当該宿泊施設への実際の宿泊に要する費用です。これまで個別宿泊業者・日帰り温泉事業者10社以上、観光地(温泉地)1地域(団体)に実施し、それぞれ経営改善につなげています。 余談ですが、この研究会は私が立ち上げ、現在も20名の診断士で構成され運営されています。	<p>今後も左記のような事業を行いたいと予定しており、商工会議所や金融機関のご紹介などの機会があれば事業者(団体)に説明に出向く所存です。もちろん犬山市の観光の役に立ちたいと考えてます。そこで「予定」とは異なりますが、犬山市行政に対して、次の点を要望したく存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市に診断先事業者、団体とのマッチングをお願いしたい。 ・事業者が負担する費用の補助をお願いしたい。 ・診断チームが会議等を行うための施設の提供をお願いしたい。 	<p>さまざまな産業振興策が考えられますが、よろず支援拠点や商工会所などの支援機関とは重複しない行政ならではの視点とスケール感、そして強いリーダーシップを期待したいです。観光を例に例えると、城下町の景観においては「どういう町並みの景観を目指すのか」を明確に描いた上での指導と支援、限られた公費を有効に使うために「市民の機嫌取りのための公平性」を排除した上で焦点を絞る投資判断、観光PRや地域産品の販売機会創出する活動に期待します。地域発展には教育や文化保護、医療の充足など様々な取り組みが必要ですが、まずは産業振興という立場から「事業者が豊かになる」ことを第一に捉えるべきであり、産業が豊かな地域を生み、全てを潤すというストーリーを描くべきだと考えます。</p> <p>またミクロの視点からは、添付の中小機構の資料にもありますが、これも商工会議所とのすみ分けを考慮した上で次のような施策を市に求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者により異なる固有の経営課題解決に資する補助金 ・地域産品(名物)を創出するための専門家を組織した検討会と試作機会 ・事業者の売上拡大のための相談窓口、専門家派遣 ・観光地犬山の課題と改善ロードマップを明らかにするための専門家活用 ・市内事業者の雇用難対策に向けた市独自のマッチングイベント 	-